

## ＜国際セミナー＞ 日本とドイツの経営管理と環境経営 — 日独比較調査から見えてきたこと —

グローバル化の進展と保守主義の台頭、また、地球環境保全に対する意識が世界的に高まる中で、ダイムラー、BMW、ボッシュ、シーメンスなどドイツ企業の好調さが目立っています。これらの企業では、高い技術力を背景に付加価値の高い製品を提供しながら、その一方で、地球環境保全に対して先進的な取り組みを行っています。

本セミナーでは、ドレスデン工科大学のトーマス・ギュンター教授をお招きし、2015年にドレスデン工科大学と神戸大学が共同で実施した日独企業の国際比較調査の結果に基づきながら、ドイツ企業と日本企業の経営管理と環境経営の特徴を明らかにして、好業績の裏側に迫りたいと思います。

ドイツ企業によるコーポレートガバナンス、経営管理、環境管理への取り組みは、日本企業にとっても大いに学びのあるものだと思います。

皆様のご参加をお待ちしております。

日 時： 9月19日(火)13時30分から16時30分  
場 所： 神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ  
大阪市北区鶴野町1-9 梅田ゲートタワー8階  
参加費： 無料（要参加申し込み）  
言語： 日本語・英語（日本語逐語通訳付き）



Prof. Dr. Thomas Günther  
Technische Universität Dresden

- ◇ 「ドイツ企業の経営管理と環境経営の実態」  
ドレスデン工科大学 教授 トーマス・ギュンター
- ◇ 「日本企業の環境経営の実態」  
神戸大学大学院経営学研究科 教授 國部克彦
- ◇ 「日独経営管理の比較調査の概要」  
神戸大学社会システムイノベーションセンター 兼  
神戸大学大学院経営学研究科 教授 梶原武久

### ＜参加申し込み・お問合せ＞

國部研究室宛(kokubu@b.kobe-u.ac.jp)に、E-mailにて、件名「日本ドイツ国際セミナー参加申込 または 問い合わせ」、お名前、所属先をご連絡ください。

※ Tel: 078-803-6952